

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年10月25日(2018.10.25)

【公開番号】特開2018-6347(P2018-6347A)

【公開日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-001

【出願番号】特願2017-163645(P2017-163645)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/22 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/22 Z

H 0 5 B 33/14 A

H 0 1 L 27/32

G 0 9 F 9/30 3 6 5

G 0 9 F 9/30 3 3 8

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月11日(2018.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の基板上方のチャネル形成領域を有する半導体層と、
前記チャネル形成領域と重なるゲート電極と、
前記半導体層上方及び前記ゲート電極上方の第 1 の絶縁膜と、
前記第 1 の絶縁膜上方の配線と、
前記配線上方の第 2 の絶縁膜と、
前記第 2 の絶縁膜上方の第 1 の電極と、
前記第 1 の電極上方及び前記第 3 の絶縁膜上方の E L 層と、
前記 E L 層上方の第 2 の電極と、
前記第 2 の電極上方の第 2 の基板と、を有し、
前記第 1 の電極は、前記配線を介して前記半導体層と電氣的に接続され、
前記第 3 の絶縁膜は、前記第 1 の電極の端部を覆っており、
前記第 2 の絶縁膜は樹脂を有し、
前記第 1 の電極は、前記半導体層の前記チャネル形成領域と重なっている第 1 の部分を
有し、
前記第 1 の電極の第 1 の部分は、前記第 3 の絶縁膜と重なっていないことを特徴とする
自発光装置。

【請求項 2】

第 1 の基板上方のチャネル形成領域を有する半導体層と、
前記チャネル形成領域と重なるゲート電極と、
前記半導体層上方及び前記ゲート電極上方の第 1 の絶縁膜と、
前記第 1 の絶縁膜上方の配線と、

前記配線上方の第２の絶縁膜と、
前記第２の絶縁膜上方の第１の電極と、
前記第１の電極上方及び前記第３の絶縁膜上方のＥＬ層と、
前記ＥＬ層上方の第２の電極と、
前記第２の電極及び前記半導体層と重なる有機材料と、
前記有機材料上方の第２の基板と、を有し、
前記第１の電極は、前記配線を介して前記半導体層と電氣的に接続され、
前記第３の絶縁膜は、前記第１の電極の端部を覆っており、
前記第２の絶縁膜は樹脂を有し、
前記第１の電極は、前記半導体層の前記チャネル形成領域と重なっている第１の部分を
有し、
前記第１の電極の第１の部分は、前記第３の絶縁膜と重なっていないことを特徴とする
自発光装置。

【請求項３】

前記電極は、透光性を有することを特徴とする自発光装置。